単施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年　10月16日

【研究課題名】

臨床工学技士の当直導入によるOHCA症例でのDoor to PCPS時間変化と転帰の調査

【研究期間】

2018年8月～2018年9月

【研究対象】

　2009年4月から2018年7月までで、OHCA（院外心停止）で救急搬送されて、PCPS（経皮的補助人工心肺装置）を導入された患者

【研究目的・意義】

　現在臨床工学技士が24時間院内に在院する体制を敷いており、迅速にPCPSを実施できる状況にはなってはいるが、その体制がOHCA患者の生存に寄与できているかの調査、またデータを知ることで、臨床工学科の方向性の修正を図るものとする。

【研究方法】

すでに治療を終了した方のカルテ情報を用いて、情報を収集し、病着からPCPS導入時間治療、転帰を解析します。解析は両側t検定などで行われます。  
　当直体制により、PCPS導入時間が短縮することで、患者さんの転帰に有用かどうかの検討を行います

【研究に用いられる試料・情報の種類】

・年齢、・性別、・原疾患の有無、・目撃者の有無、・Bystander CPAの有無、

・「救急活動引継票」の病院到着時刻、

・「血管造影観察記録」のPCPS導入時刻

・CPAとなった主たる疾患（CAG記録より参照）

・転帰(CPC含めたもの)

【個人情報の取扱い】

個人が特定される情報については匿名化します。また、対応表は作成いたしません。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　診療科名：臨床工学科　担当者名：玉城　智

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）